

Quique Sinesi & Hikaru Iwakawa

キケ・シネシ & 岩川光デュオ

DUO JAPAN TOUR 2023

ジャパン・ツアー 2023

茨城公演 3.18 Sat. 13:45開場／14:15開演



あらゆる境界線をあざやかに超えて奏でられる
世界でこの2人にだけ許された音楽
その美しさに私たちは言葉を失う

チケット発売日：2023/1/5(木)10時～

会場：ギター文化館 茨城県石岡市柴間431-35 〔全自由席〕

前売一般6,000円／前売学生^(25歳以下)3,000円（当日券・各500円増）

主催&お問合せ | ギター文化館 ☎0299-46-2457（受付：10時～17時・水～日、月火休館）

ギター文化館受付は、電話またはWeb予約のみ（チケット取り置き・当日開場後に受付清算）

【プレイガイド】

Ro-Onチケット(郵送) ☎047-365-9960

ローソンチケット【Web】l-tike.com（一般券のみ）Lコード：34694

つくば市ノバホール窓口☎029-852-5881

小美玉市四季文化館みの〜れ窓口☎0299-48-4466



ローソンチケットWeb予約



ギター文化館Web予約

* 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策にご協力下さい。

●お並びの方とのソーシャルディスタンスをお取り下さい。●必ずマスクをご着用下さい。●手指のアルコール消毒にご協力下さい。●入場時の検温にご協力下さい。37.5℃以上の場合には入場をお断りいたします。●今後の感染症拡大状況によっては開催中止、または延期となる場合もございます。予めご了承下さい。



【キケ・シネシ】

1960年、ブエノスアイレス生まれ。
現代アルゼンチンにおける最重要ギタリスト／作曲家のひとり。
7弦ギターを中心に、10弦ギターやフレットレス、ピッコロも含む各種ギター、チャランゴやロンロコ（アンデス地域の伝統的弦楽器）、バンジョーなど様々な撥弦楽器を弾きこなし、生まれ故郷の音楽であるタンゴとフォルクローレを軸足としながら、ジャズ、即興、クラシックなどのあらゆる音楽のエッセンスを色彩豊かなイメージーションで織り交ぜた唯一の無二の音楽は、彼の半世紀近いキャリアにおいて常に世界中の多くの聴衆を魅了してきた。
10代でプロ活動を始め、20代でバンドネオンの世界的巨匠ディノ・サルーシのカルテットのメンバーに抜擢されたのを契機に世界的に注目を集め始め、故チャーリー・マリアーノ、アストル・ピアソラ・バンドのピアニストだったパブロ・シーグレル、ペドロ・アスナール、シルビア・イリオンド、ルーベン・ラダ、ミシェル・ゴダール、ファン・ファルー、カルロス・アギーレら世界中の名だたる音楽家たちと共演を重ね、また数えきれないほどの録音作品を世に送り出してきた。
ソリストとしても数多くの国際フェスティバルに出演し、その地位を確固たるものとしてきた。
89年発表の1stソロ・アルバム『Cielo Abierto』以来、自作自演によるソロ作品も多数発表し、いずれもギター・ファンにとどまらず、幅広いリスナーを獲得している。

キケ・シネシ&岩川光デュオは2010年12月の初共演以来、アルゼンチン、日本、ドイツなどで数多の共演を重ね（3度の日本ツアーを含む）、2枚のアルバム（『deseo』『UTA』）を発表。今や互いに欠かすことのできない音楽の盟友となっている。

【岩川光】

他の追従を許さぬ圧倒的な演奏技術で「ケーナの革命者」と呼ばれる世界最高峰のケーナ奏者にして、幅広い音楽言語を吸収し、独創的な作品を生み出し続ける作曲家。9歳よりケーナを始め、12歳より演奏活動に入る。10代を通してリコーダー演奏、作曲、指揮法を学ぶ。こうした知見と技術を活かして生み出した独自のケーナ奏法は世界的な話題を呼び、これまでのケーナのイメージを覆す演奏を展開。南米・ヨーロッパを中心に音楽祭出演や数々のツアー公演、ディノ・サルーシ、故ハイメ・トーレスら世界的巨匠との共演、キケ・シネシとのデュオ、古楽アンサンブル「カペラ・メディテラネア」のソリストとして参加したラジオ・フランスでの公演などを通じ、幅広い分野で国際的に高い評価を得る。録音作品も非常に多く、またその内容はバラエティに富み、国内外の専門誌で年間ベストに選出されるなど好評を博す。常に世界規模で複数のプロジェクトを展開。現代の作曲家との協働、古代楽器の演奏復元、製作家として新モデルの開発など、その活動は多岐にわたる。また南米を中心にマスタークラスの開講も多い。2013年よりブエノスアイレスに暮らすも、新型コロナ・パンデミックで2020年8月一時帰国。2022年1月には、クラシック演奏家の登竜門として名高い東京オペラシティ主催の名物企画『B→C』にケーナとしては史上初の出演を果たし、各方面より惜しめない賞賛を得た。



生音が美しく響くドームホールと銘器カーノコレクションを所蔵する「ギターの殿堂」 ギター文化館（運営：東京労音）

〒315-0124 茨城県石岡市柴間431-35 TEL.0299-46-2457(受付10:00～17:00/水～日、月火休館)
*個人見学は週末の指定日のみ。事前に公式サイトにてご確認ください。 <https://guitar-bunkakan.com/wp/>
(平日の個人見学は受け付けておりません。平日は事前予約の団体見学、貸会場利用のみ、となっております。)

●公共交通機関のご案内

その① 各駅停車の旅を楽しみながらの場合

JR常磐線上野発11:32⇒羽鳥着13:08
羽鳥駅改札出たら西口に降りて関鉄グリーンバスに乗車。
板敷山前行き13:45発⇒「ギター文化館入口」14:00着。
降りてすぐ目の前の丘の上のドームホールが目印。徒歩5～7分。
お帰りは、16:31分のバスに乗って、羽鳥駅着16:50。
バス運賃は、片道320円。
羽鳥駅前タクシー 羽鳥駅⇒ギター文化館まで、約2000円前後。
羽鳥駅前ハイヤー0299-46-1511

その② 特急ご利用の場合

品川発11:15のときわ59号⇒石岡着12:25
石岡駅前からタクシーで約20分。3500円前後。
関鉄ハイヤー 0120-24-2217 0299-24-2200
石岡発各駅停車13:31⇒羽鳥着13:36(1区間)
*土日は羽鳥駅前でランチできることはありません。

